

水稻の病害虫防除と渇水対策 〈大川地区〉

【いもち病】穂いもちに進展しないよう、下表の**必須防除**を徹底しましょう。

ほ場をよく見回り、発生が認められた場合は、速やかに**ブラシフロアブル**等で防除を行いましょう。



葉いもち



穂いもち

必須防除	防除時期		対象病害虫	使用薬剤及び10a当たり散布量	確認防除	防除時期	対象病害虫	使用薬剤及び10a当たり散布量
	い ず れ か	出穂20～15日前 (収穫45日前まで/1回)	穂いもち、 紋枯病、 カメムシ類、 ウンカ類	ゴウケツモンスター 粒剤3kg		発生初期 (収穫7日前まで /2回以内)	いもち病	※ブラシフロアブル 1000倍
	出穂直前 (収穫14日前まで/2回以内)		ノンプラスバリダダントツ フロアブル1000倍					

※ブラシフロアブルはノンプラスバリダダントツフロアブルと合わせての使用回数が2回以内です。

【斑点米カメムシ類】登熟期間にカメムシに吸汁されると**斑点米**が発生し、**等級低下**の原因となります。

早期栽培では**7月中下旬から出穂期**となるので、カメムシ防除を徹底し、品質向上を目指しましょう。



ミナミアオカメムシ
(幼虫)



ミナミアオカメムシ
(成虫)



斑点米

【カメムシ類の防除薬剤】

確認防除	防除時期		使用薬剤及び10a当たり散布量	使用時期
	い ず れ か	出穂7～10日後	スタークル豆つぶ250g	収穫7日前まで/3回以内
	出穂10～14日後	スタークル粒剤3kg		
		スタークル顆粒水溶剤100ℓ 2000倍		

【渇水対策（水稻節水栽培）】

今年、梅雨時期の降雨が少なく農業用水の不足が心配されます。不足した場合は、生育ステージ別に用水の必要度に応じて、下表の節水栽培の目安表を基に最低必要量を供給するようにしましょう。

生育ステージ	必要度	コシヒカリ		あきさかり	ヒノヒカリ	※土壌水分(限度) 入水する目安
		(4/25)植	(5/20)植	(6/15)植	(6/20)植	
活着期	◎	4/25	5/20	6/15	6/25	活着するまで湛水状態とする
有効分げつ期	△	5/1	5/25	6/25	6/30	黒乾きまで
無効分げつ期	▲	5/30	6/19	7/15	7/20	白乾きまで
幼穂形成期	◎	6/21	7/5	7/20	8/5	黒湿りまで(手で握って土だんご ができる状態)
穂ばらみ期	◎	7/1	7/15	7/30	8/15	
出穂開花期	◎	7/15	7/30	8/14	8/30	
登熟前期	○	7/20	8/4	8/19	9/4	同上
登熟後期	△	8/5	8/15	9/8	9/24	黒乾きまで
落水期	—	8/10	8/25	9/15	10/5	

注1) 用水の必要度
◎：大、○：中、△：少、
▲：微、—：不用を示す。

注2) ※土壌水分は、水稻の生育収量に大きな影響を与えない範囲の最低の土壌水分であり、この状態に達したら灌水する。